

2019-2020年度 自然観察大学 室内講習会 のご案内

自然観察大学では下記のとおり室内講習会を実施します。お気軽にぜひご参加ください。

野外の現場では聞くことのできない、講習という形での面白いお話が期待できます。

自然観察大学は、校庭シリーズなどの著者の先生方を講師に迎えた、ユニークでたのしい観察会です。植物、野鳥、昆虫、クモなどの各専門分野の興味深い話題で、参加者の皆様より好評いただいております。(これまでの活動は ホームページ で紹介しています。〔自然観察大学〕で検索または下記URL) この室内講習会は、野外観察会に参加されている方、そうでない方、いずれの方も歓迎いたします。

【自然観察大学は“楽しみながら自然観察の視点を身につけよう”という目的のNPO法人です。法で定められた大学ではありません】

- 【第1回】** 2019年12月8日(日曜日) 13:00~16:30
- テーマ① **昆虫のDNAが教えてくれること** 講師：鈴木信夫、鈴木智也
-日本列島の昆虫進化史から繁殖戦略まで-
- テーマ② **虫や鳥が見ている紫外線の世界** 講師：浅間 茂
-『虫や鳥が見ている世界-紫外線写真が明かす生存戦略』刊行記念-

- 【第2回】** 2020年2月9日(日曜日) 13:00~16:30
- テーマ① **樹木観察の面白さ(1)** 講師：小幡和男ほか
-『樹木博士入門』発刊記念 制作裏話-(仮題)
- テーマ② **樹木観察の面白さ(2)** 講師：飯島和子ほか
-『樹木博士入門』発刊記念 制作裏話-(仮題)

※ テーマは若干の変更がある場合があります

場所 東京都台東区台東1-26-6 植調会館 3階会議室
JR秋葉原駅・御徒町駅よりいずれも徒歩約10分
地下鉄の銀座線末広町駅、日比谷線秋葉原駅・仲御徒町駅、
つくばエクスプレス、都営大江戸線も利用可能です。

※ 案内図を希望される方は申し付けください。

参加費 第1回、第2回とも、各1,500円(学生500円、NPO会員は1,000円)／当日申し受けます

第1回・第2回とも、各テーマ約1時間30分、計3時間です。当日は講演者以外の講師の先生方にご出席いただく予定です。当日の講演内容以外でも、参加者の皆様からの質問を受け付けます。

参加希望の方は、裏面の申込書に記入の上、FAXか郵送でお送りください。Eメール利用も歓迎です。申込み受付は先着順とさせていただきます。(定員約60名) 応募者多数の場合、参加いただけない場合があります。ご了承ください。

**NPO法人
自然観察大学
事務局**

〒110-0016 台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel 03-3833-1822(全農教内) Fax 03-3833-1665
<http://sizenkansatu.org/> (2019年7月から新しくなりました)
Eメールアドレス jimu@sizenkansatu.jp

講師紹介

鈴木信夫
すずき のぶお

日本女子体育大学教授(昆虫学)、日本昆虫学会・日本節足動物発生学会会員。理学博士。小金井市で子供たちの自然観察教室の指導スタッフとしても活動を続けている。自然観察大学講師
【おもな著書】「校庭の昆虫」(全農教、共著)、「昆虫発生学 上」(培風館、シリアゲムシ目分担)、「フィールドガイドシリーズ 昆虫ウォッチング」(平凡社、ヤマトシリアゲ分担)

鈴木智也
すずき ともや

信州大学理学部博士研究員(進化生物学)。理学博士。日本昆虫学会・日本動物学会・信州昆虫学会会員。主にコオイムシ類を材料として胚発生、分類、分子系統地理、繁殖生態などの研究を展開している。信州大学および武蔵野大学で非常勤講師。
【おもな著書】「水生半翅類の生物学」(北隆館、分担)、「Species Diversity of Animals in Japan」(Springer、分担)

浅間 茂
あさま しげる

生き物と環境の関係を主テーマに水環境、クモの生態、ボルネオの生物を研究。電子顕微鏡と紫外線・赤外線カメラによる独自の観察も実行。元千葉県立千葉高等学校教諭。日本生物教育会賞金賞を受賞。自然観察大学副学長
【おもな著書】「水辺の生きもの」「校庭の生き物ウォッチング」(全農教、共著)、「虫や鳥が見ている世界-紫外線写真が明かす生存戦略」(中公新書)、「フィールドガイド ボルネオ野生動物」(講談社ブルーバックス)ほか多数

小幡和男
おばた かずお

身近な植物はもちろん、筑波山からモンゴル、アフリカなど、広く世界の植物を観察している。ミュージアムパーク茨城県自然博物館植物担当。茨城県で生物教員に従事したのち、同博物館では設立時から関わり、奔走してきた。新刊の「全農教/観察発見シリーズ 樹木博士入門」(全農教、共著)では中心となって取材・執筆を担当。

飯島和子
いじま かずこ

東京湾岸理立地をはじめ各地の植物群落の遷移や植物の特性を調べ、植物の教材化を試みてきた。現在は新たに農業をはじめるとともに実践的な動植物の観察を続けている。千葉県立衛生短期大学生物学研究室教員などを経て、現在は秀明大学非常勤講師。自然観察大学講師
【おもな著書】「樹木博士入門」「校庭の雑草」「新 雑草博士入門」「新版 形とくらしの雑草図鑑」(全農教、共著)など多数